

平成21年10月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

■農地を身近な存在に

中能登支部【コロニー】



中能登町のほぼ中央部に位置する東馬場は水田に囲まれた集落ですが、農作業の省力化や外で遊ぶ子どもたちの減少などにより、地域住民にとって農地は近くて遠い存在になりつつあると感じています。

また現在、地域では大区画ほ場整備事業が進んでおり、将来、営農が担い手中心となった場合、農地がさらに遠い存在になる人が増えるのではと考えています。

そこで「コロニー」では、子どもたちへの農業体験を通じて農地にふれる機会を作るとともに、農家と保護者との交流も深め、農地が少しでも身近な存在になってもらえればと考えました。

今年の田植えでは、子どもたちが泥の感触に驚きながらも、一株一株、丁寧に苗を植え（写真：上）、また、稲刈りでは保護者の方も熱心に作業していた（写真：左）、農作業を通じた連帯感の深まりも感じました。

今後は12月に餅つきを予定していますが、こうした活動を通じて多くの方に農地が身近な存在であると感じてもらえればと思っています。



■農道路肩・水路法面の改修と芝桜の植栽について

南加賀支部【川北町農地水資源保全組合（橘地区）】



川北町・橘地区ではメイン農道約950mmをフラワー農道と位置付け、除草剤散布等による法面への荒廃を防ぐため農道や水路法面の改修と防草・景観対策として芝桜の植栽を実施中です。芝桜は乾燥に強く、耐寒性に優れていることや根付け後の繁殖力が強く、花のジュウタンも魅力的なことから景観形成に最適な植物として選択しました。

芝桜の植栽は保全組合発足時より実施し3年目ですが、毎年各種団体より70～80名の参加を得て実施しています。（写真：右）又、非農家の参加割合も徐々に増え、

環境保全の意識の向上に繋がっていると思います。4月から5月上旬にかけてピンク色の帯布のように咲き誇り（写真：左）、開花時には地域の方のウォーキングコースや散策路としても大変喜ばれております。今後も農道路肩の植栽活動は地域全体で続けていく予定です。



■海岸松林の再生に向けて

県央支部【打木村づくり委員会】

打木町は金沢市の西部に位置する砂丘地園芸地帯であり、露地ではスイカや大根、水稻等が、また施設ではキュウリ、トマト、メロン、花き等が栽培されています。



打木町は海岸沿いに位置するため、古くから農作物への防風対策としてクロマツを植栽しています。しかし近年、松くい虫による被害のためクロマツが減少し、海風で露地作物に傷がついたり、ハウスのビニルがめくれるといった被害が出ていました。そのため、「打木村づくり委員会」では金沢市と連携し、松くい虫による松枯れの原因となるマツノザイセンチュウに抵抗力のあるクロマツを植栽しました。(写真)今回、金沢市から提供された 200 本の抵抗性クロマツの苗木を定植し、防風林帯の再生を図りました。

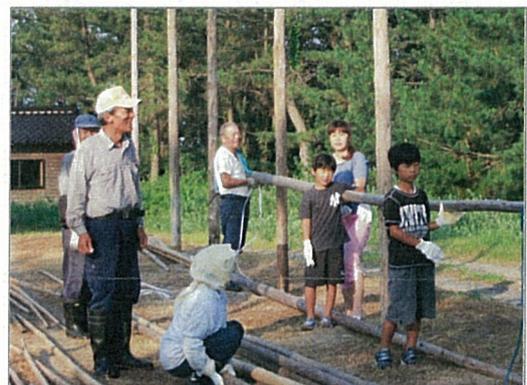
また、打木村づくり委員会では、防風林の成木についても枝払いや下草の草刈り等を定期的に行っており、打木町の農業に欠かすことのできない防風林の保護に努めています。

■今年度から活動始めました

奥能登支部【池田・南宮農組合】

輪島市門前町池田・南地内にある活動組織「池田・南宮農組合」は、平成 21 年度から活動をはじめました。最近では、畦畔や排水路の法面等の草刈り作業に、地域住民全体で取り組みました。(写真：右下)

また、農村環境向上の実践活動では、農用地を活用し景観に配慮したそばの作付けや、伝統的な施設や農法である『稲はざ掛け』を、地域の子も達と一緒に行いました。(写真：左下) 今後も地域住民一丸となって保全活動に取り組んでいきたいと思っております。



【編集後記】

秋の気配がここかしこに感じられる季節になりました。地域活動の年間行事は順調に行われているでしょうか。来月 11 月に、いしかわ農地水環境協議会が主催の推進大会を開催する予定です。詳しい内容は今後郵送にて通知いたします。皆様のご参加お待ちしております。引き続き、各地域の活動紹介にご協力お願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府 1 丁目 197 番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹

TEL : FAX 076-249-8191

E-mail : ishikawa@shigenhozen.jp